

■**中山太郎** 民俗学者。柳田國男・折口信夫らと同時代に活躍したが、両者から絶縁され、名が消えた。
なかやまたろう
三つの反乱・1876＝ 栃木県足利郡梁田村大字梁田(足利市)で雑貨商を営む相場吉蔵・テウ夫妻の9人兄弟の三男に生まれる。相場家は村内でも旧家であり、太郎の祖父の代で十一代目に当たる。父の吉蔵は次男であったため分家し、村内で材木以下、何でも扱う商店を経営していた。母のテウは梁田村の隣村・福富村の生まれ。先妻の死後、後妻として吉蔵の元へ嫁いだ。父の吉蔵は、店の経営を完全に妻に任せ、自分はもっぱら神道指南などの講義を行う毎日を送っていた。吉蔵は平田篤胤の熱狂的な信者であったという。

明治14年政変1881＝ 5歳：
新体詩抄・ 1882＝ 6歳： 徴兵凌ぎのため廃家を興すこととなり、中山姓を名乗る。新設の梁田尋常小学校に入学するが、生来の左利きのため習字や図画が上手くできず、不登校となり、父から古典のスパルタ教育を受けながら育つうち、

内閣発足・ 1885＝ **9歳**：

帝国憲法発布1889＝13歳：

足尾鉋毒始・ 1891＝15歳： 父と対立し実家を出る。

日清戦争始・ 1894＝**18歳**： 和解し帰宅を許されたが、父は死去。

白馬会・ 1896＝20歳： 母も死去。
八幡製鉄始・ 1897＝21歳： 養子の身でありながら、実両親の遺産を受け取ったことから、東京の大学へ進学しようと、上京。

東京専門学校(早稲田大学)法科に入学し、卒業。

田中正造直訴1901＝25歳： 俳諧で身を立てようと岡野知十門下に入る。この頃、結婚をし、一男を儲ける。

日比谷公園・ 1903＝**27歳**： {電報新聞社}に入社するが長続きせず、{下野日々}の記者となって宇都宮へ転居するも、ここも長続きせず、再び上京して{報知新聞社}へ移り、

日露戦争始・ 1904＝28歳： 日露戦争の従軍記者となるにあたり離婚。これより2年近くに渡り、北清地方を転々とし、
日露戦争終・ 1905＝29歳：
満鉄発足・ 1906＝30歳： 復員後は、東京や大阪での新聞記者生活の傍ら、**「歴史や風俗に関する著作を読み漁る日々を送る。」**

伊藤博文暗殺1909＝33歳： **「萌芽ともいえる「日本売笑史附吉原の沿革」を刊行した後、**

明治天皇没・ 1912＝**36歳**：
大正政変・ 1913＝37歳： **「柳田國男の{郷土研究}に触れて感銘、これこそが自分の進むべき道と確信、**
第一次大戦始1914＝38歳 **「*退社して、東京へ戻り、その足で柳田國男を訪問。柳田の口利きで{博文館}へ入社。{郷土研究}のほか、{風俗画報}{歴史地理}に長編を掲載し始める。」**

21ヶ条要求・ 1915＝39歳： 本郷の古書店でニコライ・ネフスキーと知り合う。同じ頃、折口信夫を知る。
ロシア革命・ 1917＝41歳： **「{郷土研究}が休刊になると、{趣味之友}{土俗と伝説}に発表の場を求め、**
本格政党内閣1918＝42歳： 再婚し、南里幸枝を養女とする。

原敬首相暗殺1921＝**45歳**：
水平社結成・ 1922＝46歳： **「植物研究所への資金を募るために上京した南方熊楠を訪問。」**
関東大震災・ 1923＝47歳： 関東大震災に遭い、神田にあった自宅が全焼。

日本文学大賞始・ 1926＝50歳： **「*「土俗私考」「日本民俗志」を刊行。南方の「南方隨筆」の編集を任されていた中山が同書の巻末に寄せた「私の知っている南方熊楠氏」という一文が原因で柳田と不仲となる。」**

共産党事件・ 1928＝52歳： **「「日本婚姻史」を刊行。」**

海軍軍縮条約1930＝**54歳**：
満州事変・ 1931＝55歳：

国際連盟脱退1933＝57歳： 東洋大学講師となる。**「多年に渡り収集した民俗学カードを元に、「日本民俗学事典」を刊行。」**
帝人疑獄事件1934＝58歳 **「*20年来の研究テーマであった盲人研究を「日本盲人史」として刊行。出版祝賀会の挨拶で折口信夫を批判したことから折口が激怒。」**

芥川直木賞始1935＝59歳： 幸枝が死去。{民間伝承の会}が設立される。**「*「愛欲三千年史」を刊行。民俗学の主流からますます離れる。」**
日中戦争始・ 1937＝61歳：

第二次大戦始1939＝**63歳**：

日米開戦・ 1941＝65歳： **「「歴史と民俗」「伝統と民俗」、**
・ 1942＝66歳 **「「生活と民俗」「国体と民俗」を刊行。」**
創価学会検挙1943＝67歳： 空襲を避けて郷里足利へ妻と養子省吾(太郎と前妻の長男の次男つまり孫)とともに疎開。母の生家があった福富村の御厨神社境内で生活。

敗戦・ 1945＝69歳： 終戦後は、農作業をしながら万葉集の民俗学研究をはじめが、

新憲法施行・ 1947＝71歳： 糖尿病による腎臓炎で、**「没した。」**
柳田・折口との絶縁で、学会での立場を失い、後世の評価にも関係しているといえよう。